

第1回日本周産期精神保健研究会のお知らせ

日本周産期精神保健研究会は周産期・新生児医療の場に携わるさまざまな職種の人々が集い、赤ちゃんと家族が生まれ育っていく過程への支援のあり方を研究・実践することを目的に設立されました。第1回研究会を下記の通り開催いたします。周産期・新生児医療に係わる多数の方々のご参加を心よりお待ちしております。

1. 会期：平成25年11月2日（土）～3日（日）
2. 会場：松下IMPホール（大阪市中央区城見1-3-7 TEL：078-302-5200）
URL：<http://www.mid.co.jp/midcreate/imp/hall/>
3. 会長：窪田 昭男（和歌山県立医科大学第二外科 特命教授）
4. メインテーマ：「親子の物語が始まる時 私たちにできることは？」
5. 特別講演：「聴くことの意味」 鷲田清一（哲学・倫理学者、前大阪大学総長）
6. 教育講演：「周産期医療と精神保健の出会い」 堀内 勁
「周産期医療の場にこころの視点を」 橋本洋子
「虐待死から考える周産期精神保健 ～月齢1ヵ月を迎えられない子どもたち～」 宮本信也
「周産期医療から学んだあたたかい心の意味するもの」 仁志田博司
7. 会長講演：「親子の物語とNarrative based medicineと」 窪田昭男
8. シンポジウム：Ⅰ 周産期精神保健研究会の実践とこれから
Ⅱ 周産期精神保健 ～私たちが大切にしたいこと～
シンポジスト（指定）；産科医、助産師、新生児科医、NICU看護師、臨床心理士、小児外科医、保健師、ソーシャルワーカー、理学療法士、18トリソミーの会代表
9. 要望演題：多職種関わった事例（公募）
10. 参加登録：下記のホームページからして下さい（事前登録は9月30日、当日参加も可）
11. 演題応募：下記のホームページからして下さい（締め切りは7月15日）
12. ホームページ：<http://www.shusanki-seishinhoken.com/>
13. 事務局：〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840
大阪府立母子保健総合医療センター新生児科・小児外科（代表 平野慎也）
TEL:0725-56-1220 FAX:0725-56-5682
E-mail: ml-jspmh2013@mch.pref.osaka.jp

後援学会・団体名：日本周産期・新生児医学会、日本産科婦人科学会、日本小児外科学会、日本未熟児新生児学会、日本子ども虐待防止学会、日本看護協会、日本助産師会、日本臨床心理士会など20学会・団体